

(4) トータルデザインの導入

- 新型低床車両や新たに整備する停留場・架線柱等を、共通のコンセプトのもとで、機能面も含めてデザインします。
- 街路灯等も含めた街路空間のほか、市民、企業との協働による多様な空間活用を促す手法や枠組みをデザインします。

期待される効果

- 札幌にしかないデザイン性に優れた車両の走る街並みが観光客を含む多くの人をひきつけるなど、都心に創られる新しい風景が札幌の新たな魅力となります。
- 市民、企業との協働による取組を通じ、多くの市民に愛着を持ってもらうことで、路面電車の利用促進や市民活動の活性化が図られ、路面電車を支えていくことにつながっていきます。

スケジュール

- これまで検討されたデザインイメージやコンセプトをもとに、駅前通の現在の利用状況や無電柱化された景観、地域の意向も踏まえて、ループ化実現に向けて停留場・架線柱等や街路灯も含めた街路空間イメージや、市民、企業との協働による活用手法を平成24年度から具体化していきます。

さらなる取組の実施

- ループ化が実現した後も魅力的な空間整備を展開していくとともに、市民や企業と協働する活動を生み出していくことで、市民等の利用促進のほか、札幌の新しい価値を創造できるような魅力的な都市空間の実現を目指します。

■車両のデザインコンセプト



SAPPORO CREATIVE WIND

創造都市札幌の「先進性」
「透明感のある」気候風土のイメージ、
そして「やさしさ」をデザイン

創造性あふれる人にやさしいデザインの車両が、皆の笑顔を選びながら、四季折々の魅力のあるまちなかを吹き抜け、これからのまちづくりの原動力となります。

